Unit 9

Dialog 概要

pp.54-55

* アサコはデヴィッドが使っているタブレット型コンピュータはノートパソコンより使い勝手が良いのかと尋ねる。デヴィッドは米国でそれを買い，軽いし本や雑誌を読むのにはるかに便利だと言う。スマートフォンでそれをやろうとすると文字が小さすぎるので。
* アサコが最初のタブレット型コンピュータはiPadらしいねと言うと，デヴィッドは，iPadは世に広まった最初のものではあるけれど，実は過去にもあったので新しいアイディアではないのだと言う。
* アサコが理解できずにいると，デヴィッドは以前に人気のあるSFのテレビ番組や映画の中でiPadと似たようなものが登場していたのだと言う。例として，テレビ番組『スタートレック』や，1968年のキューブリック監督とアーサー・C・クラークの共同脚本の映画『2001年宇宙の旅』を挙げる。
* アサコは別のキューブリック監督の映画『ストレンジラブ博士』が好きだと言う。彼の視点や考え方は天才であり，撮影技術も色・映像・カメラの角度・音楽など独特で誰も真似できない，彼の映画作品を見ることは彼の頭の中を見るようなものだと言う。天才の頭の中を見るようなものだと言う。だからタブレット型コンピュータと似たものが彼の映画にあったとしても彼女は驚かない。
* デヴィッドは良い点をついているね，自分も同じだと言い，キューブリックの映画が社会に与えた影響力，特に科学技術が人間の人生について与える影響について述べる。『2001年宇宙の旅』では「ハル」というコンピュータが人間を傷つけようとするので，「ハル」は人工知能が誤った方向に進んだ例として使われるのだ。『ストレンジラブ博士』も同様で，核兵器のコンピュータ制御につきものの危険について展開する。
* アサコはキューブリックが多くの有名な科学者とよく似ていて洞察力がある人だと言う。
* デヴィッドも同意し，「人生は芸術を模倣する」（芸術を中心に考える芸術至上主義の考え）と言うが，それも正しいし「科学は芸術を模倣する」というのも本当だと言う。意図的にではないにせよ，社会を前進させる為に自らの創造的努力を通して科学者と芸術家は互いに刺激し合っているのだと言い，アサコも同意する。

Part 1概要

* デヴィッドはタブレット型コンピュータを使っていて，軽いし本や雑誌を読むのにノートパソコンより便利だと言う。彼は以前に『スタートレック』や『2001年宇宙の旅』などの人気のあるSFのテレビ番組や映画の中でタブレット型コンピューと似たようなものが登場していたと言う。

Part 2概要

* デヴィッドはタブレット型コンピュータを使っていて，軽いし本や雑誌を読むのにノートパソコンより便利だと言う。彼はアサコに以前に『スタートレック』や『2001年宇宙の旅』などの人気のあるSFのテレビ番組や映画の中でタブレット型コンピューと似たようなものが登場していたと言う。
* アサコは別のキューブリック監督の映画を2,3見たことあり，彼の視点や考え方は独特で，彼の映画を見るのは天才の頭の中を見るようなものだと言う。
* 『2001年宇宙の旅』の主要人物「ハル」というコンピュータは人間を傷つけようとするので，人工知能が誤った方向に進んだ例として使われるとデヴィッドは言う。キューブリック監督のもう一つの作品『ストレンジラブ博士』も同様で，核兵器のコンピュータ制御につきものの危険について展開する。

Part 3概要

* デヴィッドはタブレット型コンピュータを使っていて，軽いし本や雑誌を読むのにノートパソコンより便利だと言う。彼はアサコに以前に『スタートレック』や『2001年宇宙の旅』などの人気のあるSFのテレビ番組や映画の中でタブレット型コンピューと似たようなものが登場していたと言う。
* アサコは別のキューブリック監督の映画を2,3見たことあり，彼の視点や考え方は独特で，彼の映画を見るのは天才の頭の中を見るようなものだと言う。
* 『2001年宇宙の旅』の主要人物「ハル」というコンピュータは人間を傷つけようとするので，人工知能が誤った方向に進んだ例として使われるとデヴィッドは言う。キューブリック監督のもう一つの作品『ストレンジラブ博士』も同様で，核兵器のコンピュータ制御につきものの危険について展開する。
* アサコはキューブリックが多くの有名な科学者と同様に洞察力がある人だと言う。
* デヴィッドは社会を前進させる為に自らの創造的努力を通して科学者と芸術家は互いに刺激し合っているのだと言う。